

ヘブンリーブルー（西洋あさがお）

日頃は当店をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。

西洋あさがお「ヘブンリー・ブルー」。花の色は薄いブルーです。房咲きの朝顔で、開花時期が7月から11月の霜が降りるまで咲き続けます。日本朝顔の花が終わる頃からも開花しますので、注目度の高い草花です。また、一輪は小さいのですが、房咲きのため大変ボリューム感があります。日本朝顔とは異なり、涼しくなってくると一日中咲いています。昨年は夏の節電対策で「ゴーヤ（ニガウリ）」がブームになりました。今年は少し変わった西洋朝顔で日陰を作り、夏の終わりからさわやかな花を楽しみましょう。

<タネをまく時期>

■暖くなる5月から6月頃にまいてください。地温が25度を越える頃発芽しやすくなります。暖かい地域でも5月に入ってからタネまきをして下さい。

<タネのまき方>

■このタネは薬品を使わない方法の発芽促進処理をしてあるので水につける、傷つけは不要です。比較的均一に発芽します。

<タネをまく時の注意>

■直植えにしたいとき：いきなり土にまかず、ジフィーセブンや9cmポットに培養土を入れて2~3粒のタネを1cmほどの深さでまきます。発芽後子葉が十分に開いたころ、最も生育のよい株を残して1本に間引きします。鉢に根が回り本葉が5枚以上になるくらいまで育てます。ツルが10から15センチくらいになってから移植してください（双葉から本葉が出る次期、ナメクジなどに食べられてしまうことがあります）。一本が大きくなりますので、植える間隔は30センチ以上離して植えることをお勧めします。

■プランターなどに植える場合：このあさがおは、なるべく直植えをお勧めしますが、プランターに植える場合、大きめのものを使ってください。60cmほどの大型のプランターでは3本植え程度が良いでしょう。水をよく吸収しますのでしっかりとあげて下さい。特に水は朝夕たっぷりとあげることが必要です

<植える場所>

■このあさがおは植える方角がポイントです。半日以上日が当たる場所に植えてあげてください。南西向きは葉が黄色くなる場合があります。また、西日が強くあたるのは（植物全般ですが）好みません。家の南~北東側に植えるのがベストです。

■ネットなどに絡ませる場合、ネットあまり高くするとどんどん上の方に育ってしまいます。1~1.5mくらいまでの高さにすると形が良くなります。フェンスなどに絡ませるととてもきれいです。

<お手入れ方法>

■特に手をかける必要はありませんが、アブラムシがつく場合がありますので市販の殺虫剤で駆除してください。また、葉が食害を受けている場合はアオムシです。よく見て取り除きます。梅雨明け後高温と乾燥が続く時期に、葉が部分的に黄色く変化して、小さな斑点が目立つ時はハダニの発生が疑われます。肥料切れが起きたり株が咲き疲れるころに斑点

病が発生しやすくなります。定期的に殺菌殺虫剤を散布します。

■植えつけ後 4~5 節のところでは摘芯をすると各節から枝が出て多くの花を楽しむことができます。草勢が強く気温の上昇とともにぐんぐんと生育します。特に支柱やネットは早めにしっかりと準備します。肥料切れを起こすと葉が黄ばみ、斑点病の発生や花が小さくなるので、肥料切れを起こさないように月に 1 度、化成肥料を株元に 5~10g、ばらまくように追肥します。

■夏の高温と強い日差しでぐんぐんと生育する朝顔は、日当たりと風とおしのよい場所を好みます。梅雨の低温時は生育が止まったようになるため、植えつけ前の小鉢では保温管理します。植えつけ後の株では安心して気温が高くなるのを待ちましょう。

■枯れた葉っぱや咲き終わった花はやさしく取り除いてあげてください。花柄を取り除かないと、他のつぼみにくつつき開花を妨げてしまうことがあります。

Q 普通のアサガオはよく咲いているのに、まったく花が咲きません。葉はよく茂っています。

A 一般のアサガオよりも短日開花性が強いので、日が短くなる初秋からが花どきになります。夜温が下がるころまでお待ちください。人工照明が近くにあつて夜も明るい場合は、花が咲かなくなります。また窒素肥料過多で栄養成長をしている場合も花つきが悪くなります。この対策として、肥料、水やりを控えます。株元から 20cm ぐらい離れた場所にスコップの刃を垂直に入れ、張りすぎた根の一部を切る方法も効果が期待できます。

プランター植えアサガオの下葉が枯れて見苦しいのですが？

A 肥料不足か水不足が原因と考えられます。増し土をして培養土の不足を補うことも必要です。つる性植物は根の生育も旺盛なので大きめの容器に植えることがポイントです。プランターの大きさを見て、適切な本数(15 型プランターで 3~4 本)を植えつけます。植えつけのときに完熟堆肥などをよく混ぜて、緩効性肥料を入れ、生育に応じて追肥をします。また乾燥する夏には、十分な水やりをしてください。

Q タネをとりたいのですが、夏に咲いた花にタネが付きません。

A 開花後、約 1 か月でタネが熟しますが、高温期には実りにくいです。気温が下がる秋に、よいタネが結実します。まとめてタネをとろうとすると、サヤが割れて落ちてしまうので、茶色に変色したのから順にタネを収穫します。

Q 普通によくみかけるアサガオの葉とは形が異なります。

A 一般のアサガオとは違って、西洋アサガオの葉はサツマイモに似た丸葉です。葉には毛がなくハート形をしています。

協力: サカタのタネ